

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和6年度 要求額 (千円)	令和6年度 最終査定額 (千円)		令和6年度 要求額 (千円)	令和6年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
	総務課	区域まちづくり事業(南区)	39,178	39,178	多胎児家庭等支援事業	83	83	要求どおり	-	1
	区政企画室	南区スマート区役所事業	6,727	6,727	AIチャットボットの導入	440	440	要求どおり	-	6
					窓口へのタブレット端末設置	1,212	1,212	要求どおり	-	
					デジタル・ディバイド支援強化	446	446	要求どおり	-	
南保健福祉総合センター	子育て支援課	南区子どもの居場所推進事業	1,591	1,122	安心できる子どもの居場所の充実	1,122	1,122	要求どおり	-	9
					オンライン学習体験の実施	400	0	予算措置なし	既存事業との整合性の検討が必要	
					養育者相談会の実施	69	0	予算措置なし	既存事業との整合性の検討が必要	

令和6年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		新規・拡充	
				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				区域まちづくり事業（南区）		事業番号	
担当部署名				南区役所		局	
				部		総務	
						課	

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実		
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援					
		寄与する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			平成 28 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)									
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁、各区						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			南区民				対象数	単位	
								132,034	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			区民のニーズや区域の実情をふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力ある取組を推進することを目的とする。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			区役所が、区民ニーズに柔軟に対応し、地域コミュニティの醸成を図る事業や安全・安心に資する事業などを実施するとともに、区域の環境整備等に区局連携で対応することで、きめ細かなまちづくりを実現する。 なお、令和3年度予算から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、事業費が大きく減少している。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）									
10	公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)						
	区域の特性や区民ニーズをふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進						
	当該指標を選定した理由	区域の特性や区民ニーズをふまえたまちづくりの推進のために各事業の実施を決定していることから、事業実施数が増えることがまちづくりの推進の指標となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和4年度	実績見込み 令和5年度	目標 令和6年度	
	事業実施数		目標値	20	17	18	
			実績値	20	17		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	区域の特性や区民ニーズをふまえたまちづくりの推進のために各事業の実施を決定しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		区域の特性や区民ニーズを踏まえ、主体的に事業を企画・実施した件数					

令和6年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（南区）	事業番号	215-006
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和6年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		171,159		51,081		44,410		42,659		39,178			
		国支出金								262		262			
		府支出金		67,400						131		131			
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)		15		48		47		48		53			
一般財源		103,744		51,033		44,363		42,218		38,732					
事業費の内訳										(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
		多胎児家庭等支援事業【新規・拡充】		R5	予算	-	-	委託料	R5	予算	9,925	9,532			
				R6	予算	83	83		R6	予算	9,105	8,712			
		報償費		R5	予算	2,114	2,114	工事請負費 <th>R5</th> <th>予算</th> <td>5,747</td> <td>5,747</td>	R5	予算	5,747	5,747			
				R6	予算	1,855	1,855		R6	予算	5,747	5,747			
		消耗品費		R5	予算	2,679	2,631	備品購入費 <th>R5</th> <th>予算</th> <td>1,458</td> <td>1,458</td>	R5	予算	1,458	1,458			
				R6	予算	3,259	3,206		R6	予算	430	430			
		修繕料		R5	予算	5,116	5,116	負担金 <th>R5</th> <th>予算</th> <td>11,524</td> <td>11,524</td>	R5	予算	11,524	11,524			
				R6	予算	5,016	5,016		R6	予算	11,844	11,844			
		役務費		R5	予算	1,882	1,882	その他 <th>R5</th> <th>予算</th> <td>2,214</td> <td>2,214</td>	R5	予算	2,214	2,214			
				R6	予算	1,247	1,247		R6	予算	592	592			
債務負担行為										(単位：千円)					
15	期間			R ~ R			要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R5まで	R2～新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部事業の縮小等を行った。 R3～ハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管
	R6	引き続き事業を実施するとともに、区域の特性や区民ニーズ、社会情勢等を踏まえ、事業の在り方・内容の検討を進める。
	R7以降	引き続き事業を実施するとともに、区域の特性や区民ニーズ、社会情勢等を踏まえ、事業の在り方・内容の検討を進める。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	多胎児育児特有の悩みや負担を抱える保護者や多胎児を妊娠中の方が、保護者同士悩みや不安を共有したり、交流する場を提供することで、出産や育児の不安を軽減し、誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供する。 現在、南保健センターで多胎児サークルを運営しているが、令和6年度は、保育士による手遊びなど、新たな取り組みを加え、より手厚い内容で実施するため上記の新規要求を行うもの。
----	---------	--

令和6年度 多胎児家庭等支援事業



事業目的

多胎児を育てる保護者は、多胎児特有の悩みや負担があり、多胎の育児について話しあえる仲間と一緒に、悩みやしんどさを共有したい思いがある。
多胎児の保護者が交流を通じて悩みや不安を共有し、出産や育児の不安を軽減できることで、誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供する。

事業内容

対象：多胎児を妊娠している妊婦、多胎児とその保護者（原則南区在住）

場所：南保健センター

実施時期：年4回程度

内容：保護者と子どもが交流することができ、また、子育て等に関する情報を得ることができる場を提供する。保育士等による手遊びなどを通じて、交流が図りやすい雰囲気づくりを行う。

予算

【R6年度 予算要求事業費内訳】

・謝礼金：48,000円（保育士6,000円×2人×4回）

・消耗品費：35,000円（おもちゃ、マット等）

備考

平成27年度までは保健センターで多胎児サークルを開催していたが、参加者減少により休会となる。令和4年度南区の保護者から多胎児サークルを再開希望する声があり、再開に至る。

区域まちづくり事業(南区)

	事業名	事業概要	金額(千円)
1	南区魅力発信事業	南区イメージキャラクターであるみみちゃんの活用、「みどりのつどい」での魅力のPR、南区魅力発信コーナーでの須恵器等の展示など、南区のあらゆる魅力を効果的に発信することで、南区のイメージアップを図り、南区に対する愛着や親しみを抱いていただくことを目的とする。	953
2	ハッピー・ファーストブック	絵本で親子の絆を深めてもらい、絵本を通じてゆっくり心ふれあうきっかけを作る。また、区内図書館(分館含む)及びみんなの子育て広場等で絵本を配布することで、保護者が地域の子育て支援の場を知ることができ、絵本の配布を機会とした子育て支援に繋げる。	974
3	大学連携・交流事業	「文化と教育の都市」をめざし、南区における教育ブランドの確立に向け区内大学等との交流・連携により南区の課題解決につながる取組を行う。また、堺市南区政策会議の議論を踏まえた取組を区内教育機関と連携し、南区ブランド戦略を推進する。	571
4	南区スポーツ推進実行委員会事業	南区まちづくりビジョンに掲げる「自然とふれあい人と人とのつながりを大切にするまちづくり」の実現に向け、スポーツを通して、人と人とのふれあいや地域間の交流を深めることにより、区民の相互理解・交流を図る。	2,400
5	南区ブランド戦略推進事業	南区ブランド戦略に基づき、「豊かな育ち」の実現、「豊かな恵み」の活用、「豊かなくらし」の共感に向けた取組を進め、シビックプライドの醸成、ブランド価値の共創を図る。加えて、南区ブランド「M&GREENs」の浸透に向け、ロゴマークの活用やSNSによる魅力発信などをおして、南区の認知度の向上を図り、南区ブランドの確立をめざす。	4,735
6	みなみ花咲くまちづくり推進事業	南区の魅力である豊かな自然と人とのつながりを活かし、花の植栽等の事業に取り組むことにより、南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみを創ることを目的とする。各校区でコミュニティガーデンを設置している。	2,787
7	南区ふれあいまつり	南区に住む人々や働く人々が南区ふれあいまつりを通じて、コミュニティの輪を広げ、地域の歴史や伝統を再発見し、わがまちを愛する心を育み、地域社会の発展に寄与することを目的としている。西原公園グラウンドでは校区模擬店ほか協力団体の出展や野外ステージ、区役所では健康広場ほか展示を実施する。	6,477
8	南区防災・防犯活動支援事業	近年多発する自然災害に備えて、地域における防災力強化に向けた取組を行うことにより、地域防災力向上を図る。また、南区役所と南堺警察が協力し、パトロール活動等を実施し、街頭犯罪発生件数の減少に努める。	731
9	南区クリーン活動事業	南区の主要3駅(泉ヶ丘、榎・美木多、光明池)の駅周辺及び泉北2号線・泉北環状線沿線等において、美化運動を展開することで、区民の美化意識を高めるとともに、地元への愛着やふるさと意識の醸成につなげる。	300
10	みなみかぜ交流広場事業	区民の障がい者理解を促進することを目的として、南区内の作業所と連携し、障がい者の暮らしがわかるパネル展示や授産品の販売等を実施する。	290

区域まちづくり事業(南区)

	事業名	事業概要	金額(千円)
11	南区保健福祉連携推進事業	区民が抱える福祉的課題が多様化・複雑化する中で、複合的な課題を抱える方を支援する包括的な相談支援体制を構築するため、南区役所内保健福祉関係機関等で、社会福祉法に基づく「重層的支援体制」や生活困窮者自立支援法に基づく「支援会議」を運用する。	62
12	南区子どもウェルビーイングシステム事業	子どもの権利擁護及び児童虐待未然予防対策に資する各種施策を総合的に推進し、あわせて教育・福祉・地域が一体となって南区における子どもと家庭への切れ目ない包括的支援に取り組む。	3,112
13	子育て世代等外国人支援事業	子育て世代等の外国人に対し、コミュニケーションを円滑にし、情報の提供や支援の質を高めるため多言語のテレビ通訳システムを活用する。外国人乳幼児のう蝕率低下に向けた取り組みを実施する。	656
14	みなみ健活推進事業 ～みんなでひろげる健康活動の輪～	企業・市民協働・他課との連携を充実させ、ライフステージに応じた効果的な健康づくりの取り組みを実施する。特に予防啓発の機会が希薄で健康への意識が低く、少しのきっかけがあれば受診につながる層へのアプローチの機会を作る。また、個別アプローチにより生活習慣・健康意識の改善を図り、区民の健康レベル向上、健康寿命の延伸をはかる。	404
15	多胎児家庭等支援事業	多胎児を妊娠している妊婦、多胎児とその保護者(原則南区在住)を対象とし、保護者と子どもが交流することができ、また、子育て等に関する情報を得ることができる場を提供する。保育士等による手遊びなどを通じて、交流が図りやすい雰囲気づくりを行う。	83
16	区域まちづくり推進事業	区民ニーズに柔軟に対応するため、年度途中に企画した新規事業等を実施する。	2,000
17	南区域環境整備事業	年度途中に発生する道路や公園の補修など、南区域の環境整備等にかかる事案について、区役所予算を活用し、区長の裁量により事業所管課に対応を依頼することで、より一層住民ニーズに即した区域の環境整備の推進を図る。	12,643

39,178

令和6年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	南区スマート区役所事業			事業番号	
担当部署名	南区役所	局	部	区政企画室	課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上			
			有	取組の方向性	①行政のデジタル化の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3		
			有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進					
寄与 する KPI		有・無	指標名	—						
		無	現状値	—			目標値	—		
2	関連計画			南区基本計画						
3	事業開始年度			令和 2 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)									
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			堺市						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			区民			対象数		単位	
							132,000		人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			・ICT等の先端技術の導入とやさしい空間の創造により、安全・安心で高機能な区民サービスを提供する誰一人取り残されることのない未来型区役所の実現 ・スマート区役所の取組を通じ、泉北ニュータウン地域におけるスマートシティを推進						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			ICT等の先端技術等を活用した生活の質（QOL）の向上や地域課題の解決に向けた新たな取組を実施。 【令和6～7年度における主な取組】 ①来庁予約 ②電子申請の推進 ③遠隔での相談・問い合わせへの対応 ④やさしい庁内案内 ⑤やさしい窓口対応 ⑥パーソナライズされた情報提供 ⑦区政データの見える化 ⑧業務の電子化・標準化による効率化 ⑨デジタル・ディバイドへの対応						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			取組内容により異なる						
10	公民連携・協働事業			関係組織・関連施設と連携、地域及び民間との協働により取組を推進						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和4年度	実績見込み 令和5年度	目標 令和6年度	目標 点検対象年度 令和7年度	
	スマート区役所ロードマップ事業進捗率	%	目標値	60	100	50	100	
			実績値	60	100			
			達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由		ロードマップに掲げる取組計画に基づき選定(令和5年度に、令和6年度から令和7年度までの取組を計画したロードマップの改訂を実施)					
	目標値の設定根拠・算出方法		令和7年度(目標値100%)までの取組計画として算定					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和4年度	実績見込み 令和5年度	目標 令和6年度		
	南区役所におけるスマートシティ関連取組数	事業	目標値	2	2	2		
			実績値	2	2			
			達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由		スマートシティ（スマート区役所を含む）関連取組の積み上げが成果指標の達成に寄与するため					
	目標値の設定根拠・算出方法		成果指標の達成に寄与する取組を各年度において設定					

令和6年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	南区スマート区役所事業	事業番号	0
-------	-------------	------	---

Ⅲ. 令和6年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)			12,607		905		4,524		7,097		6,727		
		国支出金			12,607		191		381		381				
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源					714		4,399		6,716		6,727		
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源
		報償費			R5	予算	0	0	工事請負費			R5	予算	0	0
					R6	予算	387	387				R6	予算	946	946
		消耗品費			R5	予算	200	200	備品購入費			R5	予算	0	0
					R6	予算	250	250				R6	予算	849	849
		役務費			R5	予算	120	120				R5	予算		
					R6	予算	88	88				R6	予算		
		委託料			R5	予算	6,617	6,324				R5	予算		
					R6	予算	3,583	3,583				R6	予算		
		使用料及び賃借料			R5	予算	160	72				R5	予算		
					R6	予算	624	624				R6	予算		
		債務負担行為													
15	期間			R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R5まで	テレワークオフィスの開設・おくやみ申請サポートコーナーの設置 SNSの開設、動画配信・遠隔相談の実施 デジタルディバイド対応のための講座の実施（民間企業と連携） 動線の明確化・サイン改修を通じたすべての人にやさしい庁舎環境の創造（3か年計画） 駐車場満空表示等混雑状況の可視化・電子申請の活用による窓口予約 自治会活動デジタル化支援 Web発券機の導入による待合混雑の緩和 デジタル・ディバイド解消支援拠点の区役所への設置
	R6	AIチャットボット導入による24時間365日の区民サービスの充実 窓口へのタブレット端末と設置による窓口業務改革 電子メールによる窓口呼び出し連絡 動線の明確化・サイン改修を通じたすべての人にやさしい庁舎環境の創造 デジタル・ディバイド解消支援拠点でのボランティアによるスマホ相談窓口の運用
	R7以降	さらなるスマート区役所の推進

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	○スマート区役所のコンセプト「お越しいただかない」取組を推進するために、24時間365日対応可能なAIチャットボットを導入 また「お待ちせしない」取組を推進するために、呼び出し順番が近づいてきた際に電子メールでお知らせをする機能を発券機に導入 ○多様な方々が来庁する区役所においてユニバーサルデザインの観点からサインを見直し、すべての方にやさしい庁舎環境を実現 ○デジタル・ディバイド解消支援をより強化し、区民の方がお気軽にスマホの操作方法などを相談できる、スマホ相談窓口を設置・運用
----	---------	---

南区スマート区役所事業（拡充）

背景・目的

- スマート区役所ロードマップに基づき、ICT等の先端技術の導入とやさしい空間の創造により、安全・安心で高機能な区民サービスを提供する誰一人取り残さない未来型区役所の実現をめざし、あわせてスマート区役所の取組を通じ、泉北ニュータウン地域におけるスマートシティを推進する。また、ロードマップ実行の視点として掲げる「デジタルファースト」推進と「デジタル・ディバイド」解消支援の両軸で進める」必要がある。
- 令和6年度は、令和5年度に改訂する改訂版スマート区役所ロードマップに基づき、さらに事業を推進する必要がある。

これまでの取組概要

- 令和3年6月にスマート区役所ロードマップを策定、令和4年12月に社会情勢等の変化や、事業進捗に対応するため改訂実施
- ロードマップに基づき、テレワークオフィスの開設・おくやみ申請サポートコーナーの設置・ユニバーサルデザインの観点からの庁内案内サインの見直し・自治会活動デジタル化支援・デジタルディバイド対応のための講座の開催などの取組を実施

令和6年度予算要求拡充内容

○AIチャットボットの導入

南区ホームページから利用できる区民からの問い合わせに24時間365日対応するAIチャットボットを導入する。

○窓口サービス向上のためのタブレット端末導入

アプリなどを活用し多言語対応や動画による制度案内等を行うことで業務の効率化・標準化を図り、また、個に応じた最適な南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係る事業・サービスなどをプログラムとして提供するため各窓口 にタブレット端末を配置し、区民サービスの向上を図る。あわせて、タブレット端末の窓口利用のため、業務用Wi-Fiアクセスポイントを増設する。

○デジタル・ディバイド解消支援拠点の運用

区民自身が個々の必要に応じた情報を取得し、日常生活から行政手続、その他さまざまな場面で不利益を被ることなく対応することができるようデジタル活用力の向上を図るため、デジタルディバイド解消支援の拠点を南区役所内に設け、支援を強化する。主な取組は、①ボランティアによる相談対応、②場の提供、③拠点利用促進の取組

令和6年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分		新規・拡充	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		南区子どもの居場所推進事業		事業番号	
担当部署名		南区役所		215-020	
		局	南保健福祉総合センター	部	子育て支援課

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
			有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合				
	有		現状値	小6 83.1%、中3 73.2%(2019年度)		目標値	小6 90.0%、中3 90.0%(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計画		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう		ターゲット	1.3
		有		取組	子どもの居場所確保の推進				
寄与するKPI		有・無	指標名	—					
	無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画			「堺市南区基本計画 ～みなみスマートビジョン～」					
3	事業開始年度			令和 6 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			児童福祉法					
事業の概要									
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			南区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			不登校、引きこもり等で居場所を求めている子どもとその養育者				対象数	単位
								400	世帯
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			子どもたちが安心安全な環境で様々な学びや社会で生き抜く力を育み、自己肯定感や自己有用感を高めることができる居場所づくりを推進することが行政として求められている。また、子どものみならず、その養育者についても相談できる機会を身近な場所で提供し、寄り添うことで課題を共有、エンパワメントしていくことが重要となる。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			・これまで進めてきた学校や地域との連携推進の取組を生かして、様々な理由で学校に行くことができない子どもたちが多様な学びや社会で生き抜く力を育み、自己肯定感を高めることができる居場所を泉ヶ丘、柵・美木多、光明池の各エリアに1箇所ずつ設置する（週1回の頻度で運営予定）。 ・各居場所は、不登校や引きこもりなどに関する相談をより身近に受けられる環境を整えることで、子どもたちだけでなく、その養育者に寄り添い、支援するための拠点とする。 ・家から出ることが難しい子どもたちに、設置した居場所を利用してもらう契機として、オンライン学習体験会を業務委託にて実施する。 ・設置した各居場所について積極的に広報を行うことで、これまで家庭や学校以外に居場所がなかった子どもと養育者にそうした施設の存在を知り、利用するきっかけにしたい。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			居場所を設置する施設（施設使用料）等					
10	公民連携・協働事業			地域で支援等に取り組んでいる団体との協働により実施					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	定性的な成果目標						
	不登校、引きこもり等で悩んでいる児童生徒等の行動や意識の変容						
	当該目標を設定した理由		本事業は、様々な理由で学校に行けない児童生徒やその養育者に学校以外の安心安全な居場所を設置することにより、それぞれの個に寄り添った適切な支援を提供することが目的のため。				
	目標に対する実績						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和4年度	実績見込み 令和5年度	目標 令和6年度	
	本事業利用者数	人	目標値	－	－	40	
			実績値	－	－		
			達成率	－	－		
	当該指標を選定した理由		学校に行きづらくなった児童生徒や養育者が身近な居場所を利用することで、行動や意識の変容に結び付けるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法		全市の不登校児童数から区の平均値を算出し、その一割程度の人数とした。				

令和6年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	南区子どもの居場所推進事業	事業番号	215-020
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和6年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度					
				決算		決算		決算		予算		予算要求					
		事業費 (a)			0		0		0		0		1,591				
		国支出金															
		府支出金															
		市債															
		その他 ()															
		受益者負担金(使用料、手数料等)															
一般財源											1,591						
事業費の内訳												(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		会場等借上料		R5	予算	—	—			R5	予算						
				R6	予算	873	873			R6	予算						
		謝礼金		R5	予算	—	—			R5	予算						
				R6	予算	259	259			R6	予算						
		保険料		R5	予算	—	—			R5	予算						
				R6	予算	59	59			R6	予算						
		オンライン学習体験会運営委託料		R5	予算	—	—			R5	予算						
				R6	予算	400	400			R6	予算						
		R5	予算					R5	予算								
		R6	予算					R6	予算								
債務負担行為												(単位：千円)					
15	期 間			R ~ R				要求額									

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R5まで	・新型コロナウイルス感染症の拡大以降、全国的に不登校児童数が増加 ・「南区子どもサポートプラットフォーム」を立ち上げ、学校等と連携し、不登校等の増加に対する危機感を共有
	R6	・不登校、引きこもり等で居場所を求めている子どもの居場所を泉ヶ丘、柵・美木多、光明池の各エリアに1箇所ずつ設置 ・オンライン学習体験会及び養育者を対象とした不登校相談会（年3回）を実施
	R7以降	事業の定着を図りながら、事業効果を検証したうえで、より効果的な事業の運営手法の検討

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・区政策会議における議論を基に他区に先駆けて「南区子どもサポートプラットフォーム」を立ち上げ、教育・福祉・地域との連携推進をめざして区内教育機関や教職員との意見交換に取り組み、不登校等の増加に対する危機感を共有してきた。 ・堺市教育総合会議で不登校アクションプランが議論されたことが契機となり、様々な子どもの居場所の設置が必要と考えられる。 ・地域で不登校支援・居場所づくりに取り組んでいる団体等との連携により、学校へ行きづらくなった児童生徒に地域の身近な居場所を用意することで、学校・家庭以外の個々の状況に応じた選択肢を増やし、福祉の側面から課題の解決に向けたアプローチが可能となる。また、養育者にとっても身近な相談場所を提供できる。 ・本市の重点戦略である「将来に希望が持てる子育て・教育」に関する事業であり、南区基本計画においても「子育て支援・教育環境の充実」が重点施策として位置付けられている。
----	---------	--

～令和3年度

- コロナ禍以降、増加する子どもの不登校

令和4～5年度

- 南区子どもサポートプラットフォームにて学校と連携、情報を共有

令和6年度～

- 「学校で過ごす」以外の居場所を南区内に設置

現状・課題

南区子どもサポートプラットフォーム事業において、教育機関や教職員との意見交換を進める中で、不登校児童生徒の増加に対する危機感を共有してきた。養育者の相談場所、児童生徒の家庭と学校以外の居場所についての情報が少なく、必要としている人に届いていないことから、以下の3つの取組を推進する。

子どもの居場所

- 子どもやその養育者にとってより身近な場所で心理的なハードルがなく利用しやすい場所を提供。地域で既に支援等に取り組んでいる団体との協働によって、泉ヶ丘、梅・美木多、光明池の各エリアに1拠点ずつ設置する。

オンライン学習体験

- 外部との接点がない子どもの学習機会をオンライン上で確保（1か月6回無料体験）し、支援する。また、設置した居場所を利用してもらう契機とする。

養育者支援

- 養育者にも寄り添った支援ができるように相談会を開催する。
- 設置した居場所においても養育者に寄り添った支援を実施する。

